

## 被害を抑えるため、連携を確認

～新名神高速道路合同防災訓練～

**新** 名神高速道路上での大規模災害発生に備え、3月16日、土山サービスエリアで訓練が行われました。高速道路では車の速度が速いため、重大で複雑な事故が発生する恐れがあります。このため、消防、警察、道路管理者など関係機関の密接な連携が必要と見られます。この日は、甲賀広域行政組合消防本部をはじめ、関係機関が参加、負傷者が多数発生する多重衝突事故が発生したとの想定で行われました。訓練では、人命救助活動、消火活動、交通の確保などの確に行われ、被害を最小限に抑えるための連携を確認しました。



▲消防署員による救出訓練

## サークル活動の成果を発表

～まなび・たいけんフェスタ～

**ま** なび・たいけんフェスタ2010が3月21日、かふか生涯学習館で開催されました。このフェスタは、同館を利用してサークルの学習や活動の成果発表の場として毎年行われています。会場には、展示や試食・販売、体験コーナーが設けられ、家族連れなどにぎわいました。体験コーナーでは、各種サークルのメンバーが参加者とかれあいながら、学習した知識や技術を広めました。また、舞踊や楽器演奏などの多彩なステージ発表が観客を魅了しました。



▲押花サークルのメンバーに教わりながら、しおりを作る子どもたち

## 田植えを演じ豊作を祈願

～甲南・檜尾神社でお田植え祭り～

**甲** 南町池田の檜尾神社で春分の日の3月21日、お田植え祭りが行われました。この祭りは、春先に田植えのまね事を演じ、豊作を祈願する農耕行事で、市の無形民俗文化財に指定されています。境内では、天狗の面をつけた役に先導された早乙女役の子ども3名が、苗に見立てた枝を持ち、地面を払って苗取りと田植えの様子を表現。田植えが終わると天狗が小鼓を持って祝いの舞を披露しました。中嶋市長も出席し、餅まきを行い、地域の皆さんにも祝いました。



▲田植えの様子を表現する早乙女役の子どもたち

## 秀吉の朱印状や藩日記など4年間の調査まとまる

～水口藩加藤家文書調査報告会～

**江** 戸時代水口藩主であった大名の加藤家に伝わる古文書調査がこのほどまとまり、水口図書館で3月27日、調査報告会が行われました。

この調査は、市教育委員会が、平成18年度から4年間にわたって行ったもので、文書の総数は13,983点にもなります。報告会には約70名が集まり、指導調査員を務めた京都大学大学院教授の藤井讓治氏が加藤家文書の魅力について語りました。

また、図書館ロビーでは、秀吉の朱印状や家康の御内書、老中奉書や藩の江戸屋敷日記など代表的な古文書が展示され、訪れた人は数々の貴重な資料に入っていました。



▲調査報告会で古文書の魅力を語る藤井教授

## 雅な時代絵巻にうっとり

～あいの土山斎王群行～

**天** 皇の即位ごとに都から伊勢神宮に送られた斎王の行列の様子を再現した「あいの土山斎王群行」が3月28日に土山町で行われました。当日は、斎王役中村友里さん（土山町）が、みこしに乗り、色鮮やかな十二単姿を披露、約80名の一行が約3キロを練り歩き、見物客の皆さんもいにしへの群行に思いをはせていました。

今年で13回目を迎えたこの催し、これからも地域文化の魅力を伝えてくれることでしょう。



▲みこしに乗った斎王役の中村さん



▲厳かに行われた禊ぎ式



▲多くの見物客が見守る中、披露された道中舞



▲茶園の間を進む群行